

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	508A	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.510	△RG	0.049	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：508A**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

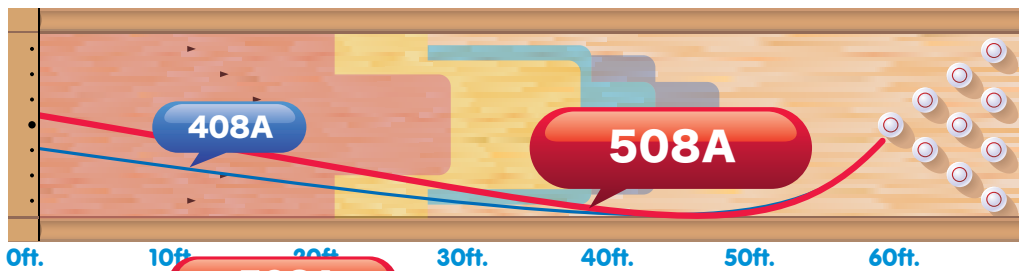
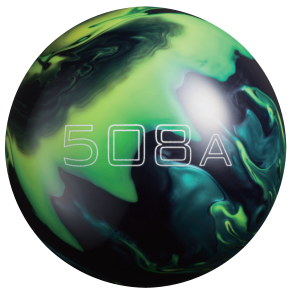
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：408A**

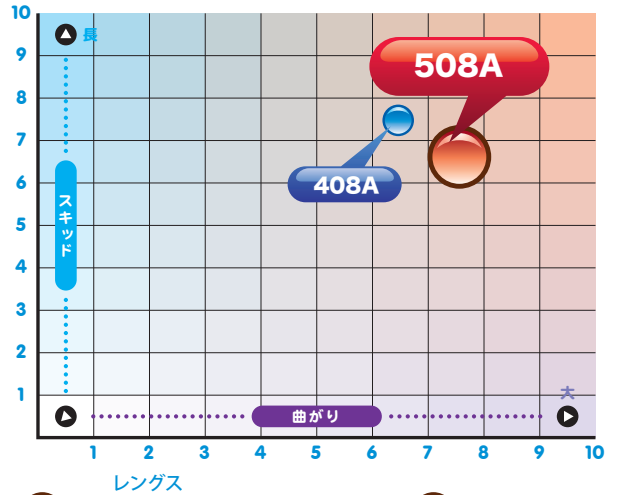
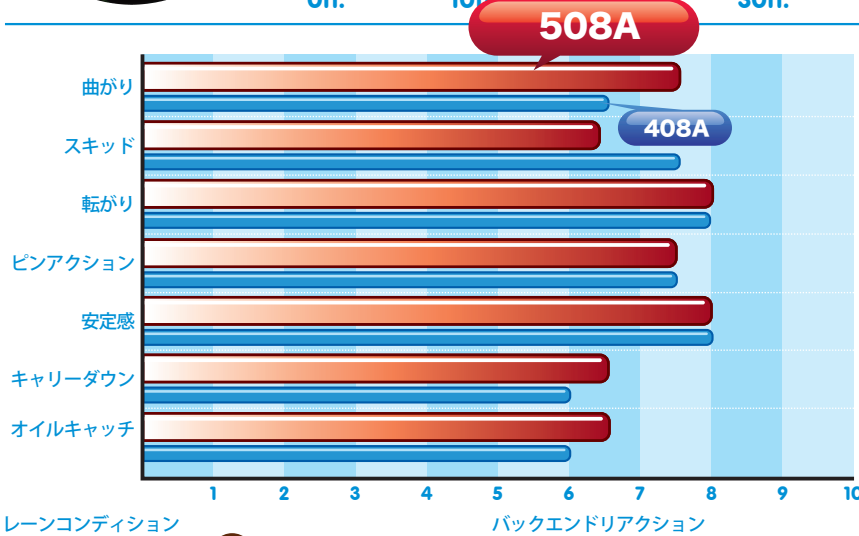
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レングス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

現在はカバーストック研究も進み、以前表現していたリアクション性能をもっと明確に感じることができるようになりました。オイル上のキャッチ力はもちろんのこと、ドライエリアでの反応の良さは以前にも増して強化され、コアが持つ性能をさらに発揮できるようになったと言っても過言ではないでしょう。

”A” (Angular) の性能を明確に感じて頂くために、408Aに続き、この508AをABSは自信をもってリリース致します。今回この508Aに採用されたMP GEN 4 Reactive Pearlカバーストックは、”5”で利用できる上位のカバーのパールバージョン。強めのカバーのグリップ力を生かしながらパールを混入することでスキッドを増やし、ドライゾーンで一気に方向を変えられる拘りのカバーストック。その反応の良いカバーと最高のキレを2段構えて演出するのが607A SEでも使用したModified Legionコア。この組み合わせで「キレない訳がない」云々鉄板のコラボレーションで最高級のキレを感じて頂けるでしょう。投げたイメージでは前回発売された502Aより曲がり始めが早く、切れ込みも強く感じます。また先月発売された408Aと曲がりの大きさは違いますが、ほぼ同等の明確な角がでるリアクションを感じることが出来ます。箱出しは#2000アブラロンポリッシュですが、#1000アブラロン加工でヘビーオイルでも角がでるリアクションを得られることができるのもこのボールの特徴で、スキッド調節や扱いやすさを求め、やや表面の光沢を消して投球するのも良いでしょう。

新年早々、このボールで大胆にまた攻撃的にラインを攻め、一年の幕開けを飾っていただけたらと思います。

### 特記事項

**キャッチ・スキッドとバランスの取れた”5”シリーズでシリーズ最大のキレを演出。暴れるほどの先での鋭い角の出るリアクションは、見る人を惹きつける魅力を感じていただけるでしょう。**